

ひこねっこ 学びの6か条

い

いっぱい本を読もう

ほん ほん ころ えいよう ちしき ほうこ
本は心の栄養・知識の宝庫

い

いい汗かいて役立とう

あせ かぞく やくだ ちいき
家族のために、地域のために

な

なぜだろう、やってみよう

こうきしん まな いよく
好奇心は学ぶ意欲のみなもと

お

おはよう、ありがとう

ひと ひと
あいさつで人と人とのつながりを

す

スポーツや外遊びをしよう

げんき そと あそ からだ ところ
元気な体づくり、心づくり

け

けじめある生活をしよう

はや はや あさ
早ね 早おき 朝ごはん



井伊直弼（いなおすけ）について

江戸時代に、日本のゆく末を考え、命をかけて働いた彦根の殿様です。
直弼公は幼いころから勉強にはげみました。埋木舎に住んだ17歳から32歳までは、文武両道にわたる修行をつみました。
直弼は、いったんやり始めたら途中でやめたりせず、納得するまでやりとげる性格で、自ら積極的に勉強しつづけました。

彦根教育 学びの提言

全国学力・学習状況調査の結果をもとに、彦根の子どもたちの学習状況や生活状況を分析し、子どもたちの健やかな成長のために特に大切にしたい内容を6点にまとめました。学校や家庭、地域で共に取り組みましょう。

ひこねっこ 学びの6か条

- 「いっぱい本を読もう」 **本は心の栄養・知識の宝庫**
読書は、すべての学習の基礎となる言葉の力や感性、表現力、想像力を育てます。読書に親しみましょう。
- 「いい汗かいて役立とう」 **家族のために、地域のために**
みんなのために役立ったという満足感が自信を生み、自立する力をはぐくみます。学校で、家庭で、地域で、自分にできることを見つけ行動しましょう。
- 「なぜだろう、やってみよう」 **好奇心は学ぶ意欲のみなもと**
学ぶ意欲を育てましょう。学ぶ意欲は、「なぜだろう」「やってみたいな」「やってみよう」という好奇心から生まれます。好奇心を大切にしましょう。
- 「おはよう、ありがとう」 **あいさつで人と人とのつながりを**
「おはよう」「ありがとう」など、あいさつは、人とつながる大切な言葉です。人とよりよくかかわる力も学力のひとつです。学校、家庭、地域で、進んで挨拶ができるようにしましょう。
- 「スポーツや外遊びをしよう」 **元気な体づくり、心づくり**
運動が健康な体を作り、健やかな心を作ります。また、学習への集中力も高めます。進んでスポーツや外遊びをしましょう。
- 「けじめある生活をしよう」 **早ね 早おき 朝ごはん**
規則正しい生活をする事で学力が10点アップすると言われていいます。早寝早起き朝ごはんを心がけ、テレビやゲーム、携帯のスイッチを切って充実した時間を増やしましょう。